

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
2022年度共同利用・共同研究課題（短期滞在型）公募要項（案）

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（共同利用・共同研究拠点「アジア・アフリカの言語文化に関する国際的研究拠点」）は、関連する個人研究者が本研究所に短期滞在して、本研究所教員との間で共同研究を行う短期滞在型の共同利用・共同研究課題（以下、「共同研究課題」という。）を広く募集します。共同研究課題の実施を希望される方は、研究代表者として、短期滞在型共同研究申請書等の必要書類を作成し、応募してください。

1. 共同研究課題の要件

- 1) アジア・アフリカ地域と関連する内容であること。
- 2) 言語学，文化人類学，歴史学，地域研究の分野。以下に挙げる研究テーマに関係する研究課題が望ましい。ただし，これ以外の研究テーマも排除しない。
 - ・グローバル化時代における多元的世界の現状と発展の可能性
 - ・アジア・アフリカ諸言語の正確な理解と言語多様性の記録
 - ・イスラームやアジア・アフリカの諸問題の正確な理解に基づく解決
 - ・フィールドサイエンスに関連した理論構築

2. 応募資格

大学院生，大学・研究機関の教員・研究者またはこれらと同等の研究能力を有する者。現在所属を有さない者及び研究職としての身分を有さない者も可とする。なお，所属機関を有する者が共同研究課題に応募する場合は，申請前に所属機関からあらかじめ内諾を取っておくこと。日本学術振興会事業の身分を持つ者についても同様に，所属（受入）機関に確認を取った上で申請すること。

3. 予定採択件数

最大5件

4. 研究期間・場所

2022年5月9日(月)から2023年2月24日(金)までの間，原則として1週間以上3ヶ月以内で本研究所が定める期間，本研究所において研究に従事する。

5. 申請方法等

1) 申請方法・申請手続き

申請はすべて電子的に行う。申請を希望する者は事前にエントリーメールを送信すること
(6. 提出方法参照のこと)。

応募書類の①、②については押印済みの書類を PDF で提出。③については WORD 等テキストデータを提出すること。)

2) 応募書類

①履歴書(用紙は市販のものに準拠し、写真を貼付すること。)

②所属機関長の承諾書(定職についている方のみ。)

③2022 年度短期滞在型共同研究申請書(様式任意。ただし次の項目を含むこと。)

(1)共同研究課題名

(2)共同研究を希望する本研究所の教員名

本研究所教員の専門分野は別紙のとおり。詳しくは研究所ホームページを参照。
(<http://www.aa.tufs.ac.jp/>)

(3)研究計画

研究課題及び短期滞在日程との関連が明らかになるよう、詳細に記入すること。

(4)研究歴・研究業績

応募共同研究課題に関連のある研究歴と主要業績を列挙すること。

(5)研究期間

共同研究を希望する日程を記入すること。

6. 提出方法

1) 応募者は、申請に先立ち、下記 11 のメールアドレス宛に自らのメールアドレスを記した
エントリーメールを送付する。メールの題名は「AA 短期滞在型共同研究申請」とすること。

エントリー期限：2021 年 11 月 12 日 (金)

2) エントリーメールの受信後、本研究所より応募者のメールアドレス宛に、提出書類をアップ
ロードするための URL が通知される。エントリーメールの送信後、1 週間を経てもアップロー
ド URL が通知されなければ、下記 10 のメールアドレス宛に連絡すること。

3) 書類は下記の提出期限までに指定された URL にアップロードすること。

書類提出期限：2021 年 11 月 26 日 (金)

4) 書類の提出後、本研究所から応募者宛に受領確認のメールを送付する。書類の提出後、
1 週間を経ても受領確認メールが届かなければ、下記 11 のメールアドレス宛に連絡する
こと。

7. 採 否

学外委員が半数以上を占める本研究所共同研究専門委員会が書面審査を行い、2022年2月25日（金）までに応募者に採否の結果を通知する。

8. 研究上の便宜

研究代表者は短期共同研究員として、本研究所が所蔵する資料や機器を利用することができる。

9. 旅 費

10万円を上限として、本研究所の定めるところにより支給する。なお、上限額の範囲内であれば、短期滞在を複数回行って構わない。

ただし、片道50キロメートル未満の場合は旅費を支給しない。

10. 研究報告

研究代表者は共同研究の終了後1ヶ月以内に、研究成果報告書（1200字程度）を所長宛てに提出しなければならない。なお、報告書は本研究所のウェブサイトで公開される。

11. 問い合わせ先

東京外国語大学 研究協力課共同研究拠点係

Tel: 042-330-5600

E-mail: ilcaajr@aa.tufs.ac.jp

*なお、審査を経て採択された共同研究課題の実施については、2022年度予算の成立を前提とする。

別紙

教 授

飯塚正人：イスラーム学、中東地域研究

太田信宏：南アジアの歴史

河合香吏：人類学、東アフリカ牧畜民研究

栗原浩英：ヴェトナム現代史

呉人徳司：言語学、チュクチ語

黒木英充：中東地域研究、東アラブ近代史

近藤信彰：イラン近代史

澤田英夫：ビルマ系少数言語の記述、東南
アジア大陸部インド系文字の体系

塩原朝子：言語学、インドネシア諸言語の記
述的研究

高松洋一：オスマン朝史、古文書学、アーカ
イブズ学

外川昌彦：南アジアの人類学、インド・バン
グラデシュ研究

床呂郁哉：東南アジア島嶼部の人類学

中山俊秀：ワカシュ諸言語（北米北西海岸）
形態・統語論、言語類型論

西井涼子：東南アジア大陸部の人類学

星 泉：チベット文化圏の言語学

渡辺 己：セイリッシュ語

准 教 授

荒川慎太郎：西夏語学、西夏語文献学

石川博樹：アフリカの歴史

伊藤智ゆき：音韻論、中期朝鮮語、中国語
中古音

小倉智史：南アジア地域研究・歴史学

児倉徳和：言語学（シベ語・東アジア）

椎野若菜：社会人類学、東アフリカ民族誌

品川大輔：言語学（バントゥ諸語記述言語学）

野田 仁：中央アジア地域研究

山越康裕：言語学（ブリヤート語など北方に
分布するモンゴル諸語：内陸アジ
ア）

吉田ゆか子：文化人類学、東南アジア地域
研究

助 教

安達真弓：ベトナム語、語用論

河合 文：人類学、東南アジア、オラン・アスリ

熊倉和歌子：西アジア地域研究・歴史学

倉部慶太：ジンポー語、チベット・ビルマ諸語、
ミャンマーの言語

後藤絵美：現代イスラーム研究、ジェンダー

